



脱アナログ化!

ー 3次元空間情報スペシャリストが拓くデジタル社会の未来 ー

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合、法政大学、大阪経済大学

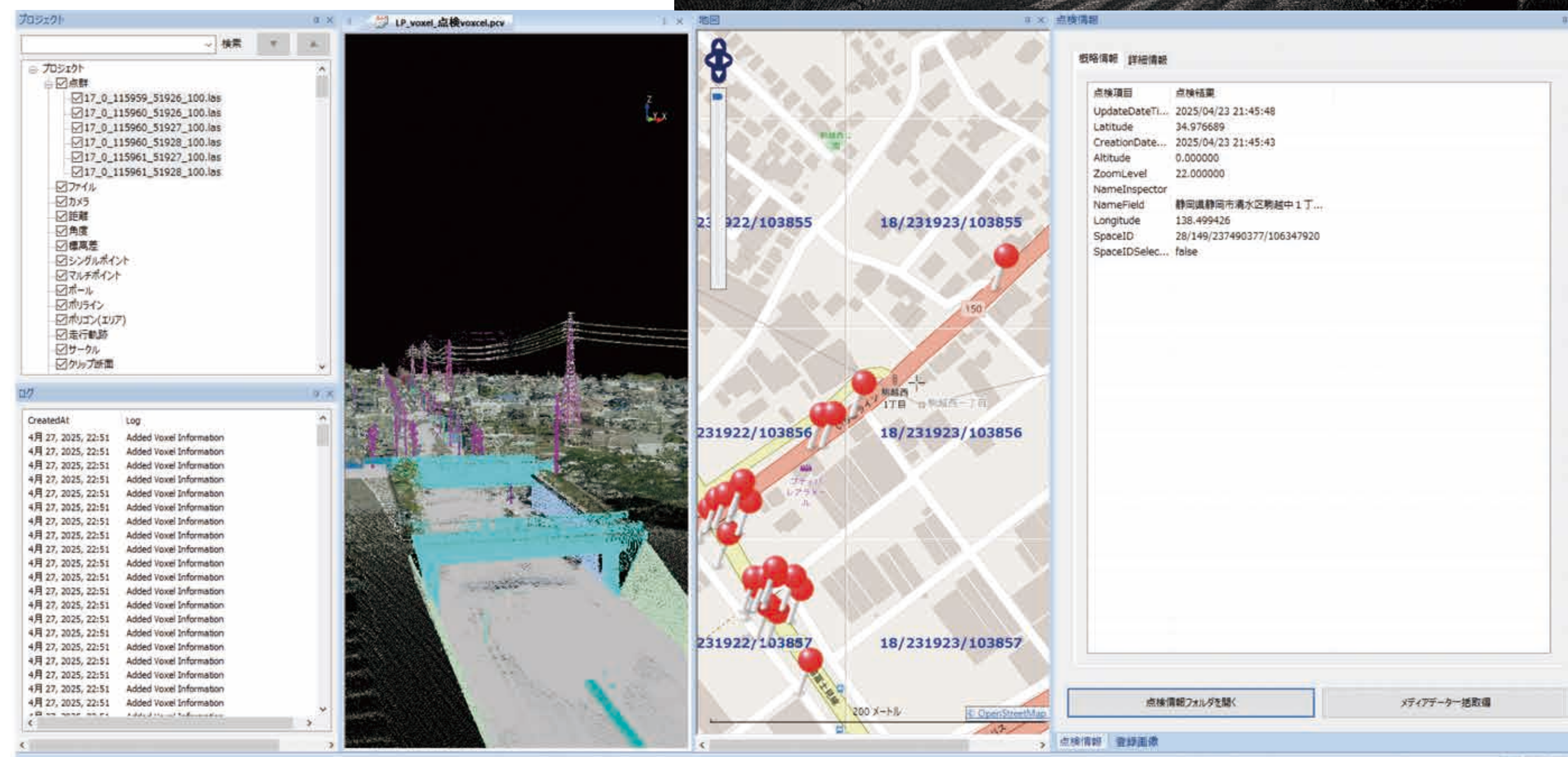
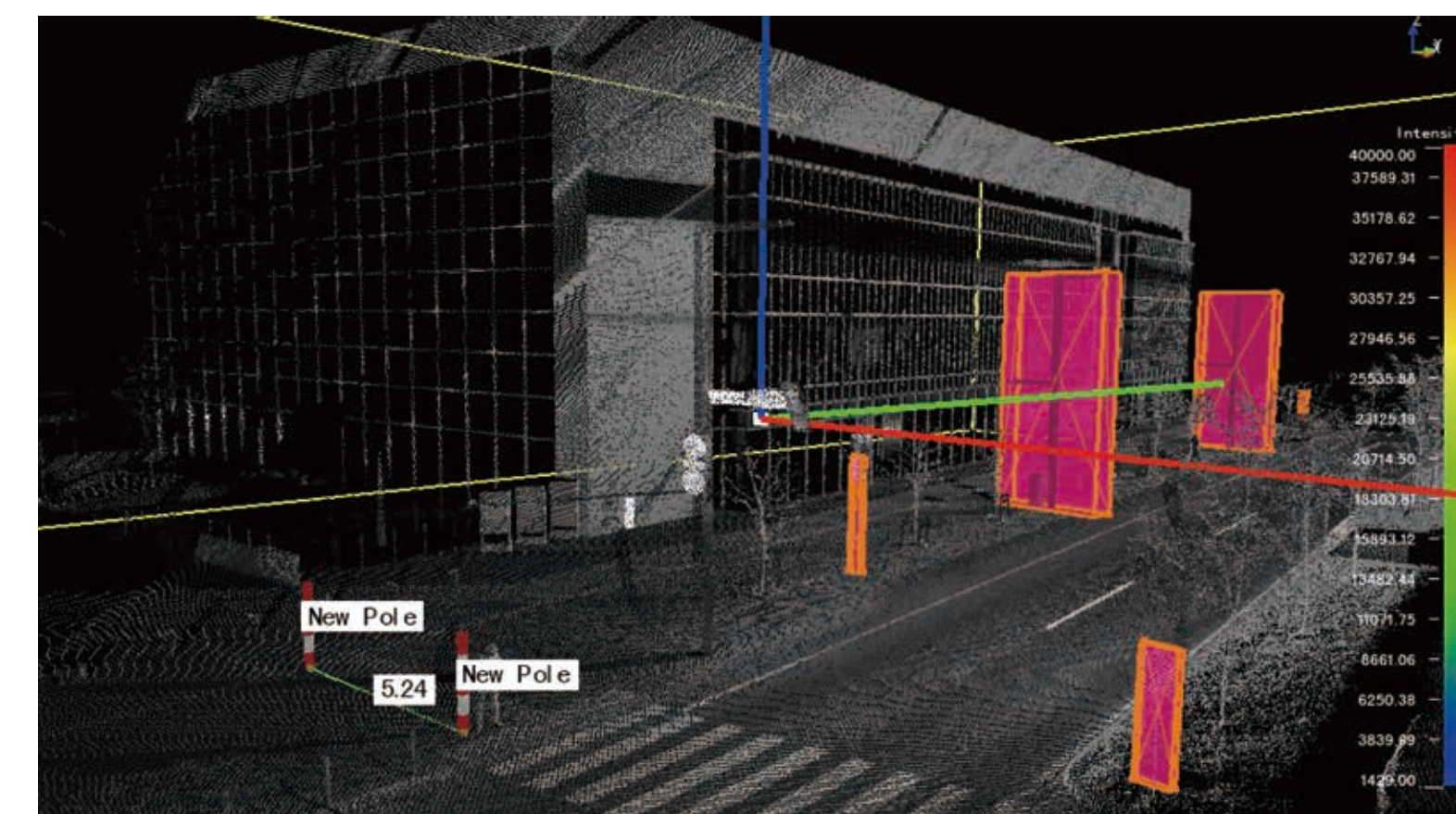
プロジェクト概要

デジタルツイン活用社会を迎えるためには、技術開発のみならず、開発技術を活用できる人材の育成が重要です。本プロジェクトでは、開発した4次元時空間情報基盤と関連技術を迅速かつスムーズに社会実装するため、Web配信を通じた座学講座の提供、実践を伴う対面講座や官民混合のアイデアソンの開催を通じて、デジタルツイン活用社会で活躍する人材育成講座を実施していきます。

展示物紹介

特別講座にて活用する各種教材や4次元時空間情報基盤のシステムデモを展示しながら、デジタルツイン上で点群データに情報を登録したり、タブレットを使った操作を体験できます。また、4次元時空間情報のユースケースの紹介として、点検業務で用いるタブレットを活用した現地調査アプリのデモを通じて、点検記録をデジタルツインに登録する場合の実務上のオペレーションの流れを詳しく解説します。

▶計測した点群データを加工し、空間IDに対応したボクセルモデルを生成する操作例



▲点検記録を登録するデジタルツインのビューア

社会実装イメージ

Web配信時のアンケートやアイデアソンで集約した意見を基に、4次元時空間情報基盤のユースケースと導入時の環境整備手順を整理し公開することで、継続的にデジタルツインを活用できる人材の育成環境を整備します。また、同時に出た要望を受けて、実用化に向けた機能の充実を図ります。これにより、デジタルツイン活用社会に向けた環境整備を行います。

ドローン等の移動型ロボットの 安全・効率的な自律航行

- 屋内のロボットナビゲーション
- 安全な飛行ルートの評価・策定

インフラ管理における点検・モニタリング支援

【日常点検】

- 空間IDにより現地にて空間に直接点検結果を記録することで、点検作業を効率化
- 事務所内にて過去の点検成果を簡単に閲覧可能

【災害対応】

空間ボクセルに基づいて差分を検出することで、広範囲の変状を高速に把握可能

プロジェクト実施期間	2024年度～2025年度
NEDOプロジェクト名	NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／空間ID・3次元空間情報基盤の活用 人材育成に係る特別講座
お問い合わせ先	宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合 HP : https://spatialid-dtw.jp/ Email : event@ssil.jp